

第二朗読 使徒パウロのコリントの教会への手紙 ー 10:16-17

(皆さん、) わたしたちが神を賛美する賛美の杯は、キリストの血にあずかることではないか。わたしたちが裂くパンは、キリストの体にあずかることではないか。パンは一つだから、わたしたちは大勢でも一つの体です。皆が一つのパンを分けて食べるからです。

福音朗読 ヨハネによる福音 6:51-58

(そのとき、イエスはユダヤ人たちに言われた。)
「わたしは、天から降って来た生きたパンである。このパンを食べるならば、その人は永遠に生きる。わたしが与えるパンとは、世を生かすためのわたしの肉のことである。」

それで、ユダヤ人たちは、「どうしてこの人は自分の肉を我々に食べさせることができるのか」と、互いに激しく議論し始めた。イエスは言われた。「はっきりしておく。人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたたちの内に命はない。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠の命を得、わたしはその人を終わりの日に復活させる。わたしの肉はまことの食べ物、わたしの血はまことの飲み物だからである。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、いつもわたしの内におり、わたしもまたいつもその人の内にいる。生きておられる父がわたしをお遣わしになり、またわたしが父によって生きるように、わたしを食べる者もわたしによって生きる。これは天から降って来たパンである。先祖が食べたのに死んでしまったようなものとは違う。このパンを食べる者は永遠に生きる。」

共同祈願 「ともに歩むあたたかさのある教会」を願う祈り

いつくしみ深い神よ、あなたは中国地方の福音宣教のために、
キリストを信じる小さな民を聖霊によって導き、
広島教区として発展させてくださいました。
現代社会のさまざまな困難の中にあって、
新たなチャレンジに取り組むわたしたちを顧みてください。
あなたに信頼して希望のうちに祈り、
どんなときにも喜びをもって福音をのべ伝え、
愛の精神をもって人びとに奉仕することができるよう、
聖霊の恵みでわたしたちの心をあたためてください。
国籍や宗教や立場の違いを超えて協働し、
ともに歩む「あたたかさのある教会」を築いていくことができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

④ 献金状況 (2026年5月)

世界広報の日献金 20,136円

* 月定献金・ミサ献金・教会建設献金の献金状況は裏ページをごらんください